



Happy Halloween

When witches go riding,
and black cats are seen,
the moon laughs and whispers,
'tis near Halloween.

異世界の扉

古代ケルトの祭りとハロウィン

ハロウィンの起源は古代ケルトの「サウイン」というお祭り。カボチャのイメージがありますが、もともとはカブをくりぬいていました。この行事がアメリカ大陸に伝わり、アメリカではカブよりもカボチャが手に入りやすかったこともあり、カボチャのお祭りになりました。

ケルトの新年は十一月一日に始まり、大晦日にあたる十月三十一日の夜からこの「サウイン」という収穫祭が行われます。この日には、あの世とこの世の間の扉が開き、先祖の霊たちがやってくると言われていました。ハロウィンの元祖は、日本のお盆と正月をあわせたような行事だったのですね。そういえば、カボチャをくり抜いて作るランタンは、お盆の提灯にも似ています。なんとなく親近感を感じるのはそのせいかもしれません。

古代ケルトの宗教は自然崇拝で、日本古来の多神教に似ており人々は、万物に神や精霊が宿ると考えていました。ハロウィンの日には、ご先祖様のような良い霊だけでなく、魔物や悪い精霊も一緒にやってくると言われていたので、人々は悪霊たちに仲間だと思わせて身を守ろうと、悪魔やおバケの格好をするようになりました。

お盆や正月に似ていたり、自然崇拝の多神教だったり日本と共通点の多い古代ケルトのお祭り。ハロウィンは異世界と繋がる日、生と死の交わる日。カボチャに明かりを灯し、魂を吹き込んでみると魔女たちの笑い声が聞こえてきそうです。

花物語

比田井宗玉

五

